

日々の積み重ねを糧に 大舞台に挑む

伊禮 しおりさん

いれい・しおり 早瀬町



若手奏者の発掘を目的に行われたオーディションに見事合格した伊禮さん。十二月九日に県民会館で開かれるコンサート「ざ・CLASSIC IC07」への出演が決まった。国内外で活躍する本県ゆかりのプロ奏者と同じ舞台上で演奏する。市内でも数少ないヴァイオリニストとして、普段は自身の教室で十八人の生徒を指導するほか、市内の演奏家らとイベントなどに数多く出演する。週末には県内各地で開かれる結婚式の出演依頼もあるという。

「演奏中はいつも胸が高鳴り、逃げ出したくなる」と伊禮さん。そんな気持ちを何とか支えているのが、毎日積み重ねている練習だ。生徒へのレッスンと子育てを両立させながら、空いている時間があれば練習に打ち込む。演奏ではヴァイオリンが体の一部になるように、全身のバランスも意識する。

本番まであと一カ月。多くの観衆が見守る大舞台で、これからも続く音楽人生の、大きな一歩を踏み出す。

●ざ・CLASSIC'07

国内外を舞台に活躍する本県出身のクラシック演奏家によるコンサート。4回目を迎える今年は12月9日(日)に県民会館で開催。

若手奏者の発掘を目的にオーディションが行われ、7人の出場者の中から伊禮さんを含む2人が選ばれた。

日本のふるさととの風景を残す
茅葺き屋根の曲り家。
自然や動物と共生してきた
かつての人々の暮らしを、
曲り家がそつと映し出している

曲り家と生きる

写真=昔ながらの曲り家の生活を再現する遠野ふるさと村